

施設名	設置年	経過年数	主な現状	国体で活用可能性について	調査結果の概要
長浜ドーム (長浜市)	平成4年 3月	23年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根の天窓のシーリング材に劣化が見られ、放置しておくこと建物の構造体に影響が出る恐れがあり、早期の対応が必要。</li> <li>・電光掲示板は、設置後22年が経過し陳腐化しているため、更新が必要。</li> <li>・平成15年に張り替えた人工芝の摩耗が見られ、耐用年数が10～15年であることを考えると、数年以内に張り替えが必要。</li> </ul>	活用可	<p>県内で唯一の屋内体育施設として代替施設はない。 必要な改修を行うことで現状施設の維持は可能。</p> <p>※長期的に施設の維持管理を行うためには、以下の改修が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期の雨漏り箇所の調査および改修</li> <li>・電光掲示板の更新</li> <li>・数年以内の人工芝の張り替え</li> </ul>
アイスアリーナ (大津市)	平成12年 5月	15年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観客席に吊り天井部分があり撤去が必要。</li> <li>・施設の内壁および外壁にひび割れや剥離等が見られ改修が必要。</li> </ul>	活用可 ・アリーナとしての活用も可能	<p>県内で唯一のスケートリンクとして代替施設はない。 経過年数が比較的浅く、必要な改修を行うことで現状施設の維持は可能。</p> <p>※長期的に施設の維持管理を行うためには、以下の対応が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観客席吊り天井の撤去</li> <li>・内壁および外壁のひび割れや剥離等の改修</li> </ul>
武道館 (大津市)	平成5年 3月	22年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・剣道場、柔道場に吊り天井があり、撤去が必要。</li> <li>・施設の一部に雨漏りがあり、放置しておくこと建物の構造体に影響が出る恐れがあることから、対策が必要。</li> </ul>	活用不可 ・施設規模が小さく、競技会場の開催基準に達しない。 ・観客席、役員席等の確保が困難 ・駐車場の確保が課題	<p>県内における武道系の競技の拠点として活用度が高い。 必要な改修を経て現状施設の維持は可能。</p> <p>※長期的に施設の維持管理を行うためには、以下の対応が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・剣道場等の吊り天井の撤去</li> <li>・雨漏れの改修</li> </ul> <p>・施設規模が小さく、競技会場の開催基準に達しないため、国体の競技会場としての活用は極めて困難。</p>
野球場 (彦根市)	(昭和14年設置) 平成4年 9月改修	(75年) 改修後 23年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観客席の大屋根部分裏面の断熱材が老朽化し一部剥離落下していることから修繕が必要。</li> <li>・施設改修と同時に設置したスコアボードが陳腐化しており全体の更新が必要。</li> </ul>	活用可	<p>県内における野球競技の拠点として活用度が高い。 必要な改修を経て現状施設の維持は可能。</p> <p>※長期的に施設の維持管理を行うためには、以下の対応が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観客席の大屋根の改修</li> <li>・スコアボードの改修</li> </ul>
柳が崎ヨットハーバー (大津市)	平成8年 5月	19年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内の壁に雨水による浸食がみられ、放置しておくこと建物の構造体に影響が生じるため対策が必要。</li> <li>・敷地内には、現在使用できないボート会館や車庫等があり、放置しておくこと崩壊の恐れもあるため、撤去が必要。</li> </ul>	条件付活用可 ・敷地内に老朽化した建築物が点在しており、撤去することで一定の面積確保が可能。 ・国体施設基準の艇置場面積7,000㎡に足りない面積は近隣の空き地等面積確保の方法について検討が必要。	<p>県内におけるセーリング競技の拠点として活用度が高い。 経過年数が比較的浅く、必要な改修を経て現状施設の維持は可能。 但しボート会館等老朽化した施設の撤去による安全性の確保等を想定する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内の壁に雨水による浸食があり、改修が必要</li> <li>・敷地内にある使用できないボート会館等は撤去が必要。</li> <li>・国体の競技会場とするには艇置場面積約7000㎡が不足するため、面積確保の検討が別途必要。</li> <li>・現行施設は諸室(更衣室、シャワー室等)が十分ではなく対策が必要。</li> </ul>
栗東体育館 (栗東市)	平成6年 10月	20年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の一部に雨漏りがみられ、放置しておくこと建物の構造体に影響が出る恐れがあることから、対策が必要。</li> </ul>	活用不可 ・競技に必要なスペースを確保すると観客席の確保が困難 ・新体操競技においてアリーナの天井高が競技会場の開催基準に達しない ・駐車場の確保が課題	<p>体操競技を中心とした競技拠点として活用度が高い。 経過年数が比較的浅い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期的に施設の維持管理を行うためには、施設の一部に雨漏れがあり、改修が必要。</li> <li>・競技スペース・観客席・駐車場の不足する点や新体操においては、天井高が基準に達しないことから、国体の競技会場としての活用は困難。</li> <li>・建設から経過年数(20年)が比較的浅く、練習拠点としての役割を踏まえると、必要性は高い。</li> </ul>

施設名	設置年	経過年数	主な現状	国体で活用可能性について	調査結果の概要
伊吹運動場 (米原市)	昭和54年 4月 平成14年4月 観客席(兼管理棟) 新築	36年 観客席 13年	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理棟外壁における防水塗膜の剥離等が進行しており壁内部に雨水が浸食してきているため、早期の対応が必要。</li> <li>平成14年に張り替えたホッケー用人工芝の摩耗が見られ、耐用年数10年～15年を考えると数年以内に張り替えが必要。</li> </ul>	活用可	<p>ホッケー競技の拠点として活用度が高く、国体会場としての活用も想定する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成14年に張り替えたホッケー用人工芝の摩耗が見られ、耐用年数10年～15年を考えると数年以内に張り替えが必要。</li> <li>国体のホッケー会場としての役割を踏まえると、必要性は高い。</li> </ul>
スポーツ会館 (大津市)	昭和59年 5月	31年	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋根瓦を固定している木の腐食がみられ、全面的な改修が必要。</li> <li>競技用測定機器類について老朽化・陳腐化が進んでおり、更新が必要。</li> </ul>	(施設の特性上、元々国体会場に想定せず)	<p>施設の特性上、今後競技力の拠点としての役割から必要性はますます高くなる。他の県立体育施設との統合により、相乗効果により施設運営を効率的に行うことが可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設の建物については、屋根瓦を固定している木の腐食がみられ、全面的な改修が必要。</li> <li>競技力向上の拠点として施設の機能を発揮していくためには老朽化・陳腐化が進む競技用測定機器類について更新が必要。</li> <li>他府県の事例同様、必要な機能をほかの県立施設に集約することで、効率的かつ効果的な運営が期待できる。</li> </ul>
ライフル射撃場 (大津市)	昭和55年 5月	35年	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物および屋外階段の鉄骨材に著しい腐食の進行がみられ、対策が必要。</li> </ul>	活用不可 ・駐車場の確保および交通アクセスが課題	<p>現行施設による施設維持は困難であり、撤去・移設による機能維持を想定する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在の建物や屋外階段に著しい劣化が見られ、建替が必要</li> <li>施設の劣化と駐車場の確保の課題等から、国体の競技会場としての活用不可。</li> <li>現地での建替にあたっては、現在上下水道が未整備であることや、借地のため敷地拡張等が困難なことなどの課題を克服する必要がある。</li> </ul>
琵琶湖漕艇場 (大津市)	昭和46年4月	44年	<ul style="list-style-type: none"> <li>築44年が経過し、管理棟・設備等の老朽化が著しく、全面改修の検討が必要。</li> </ul>	条件付活用可 ・ボート、カヌーの競技会場とする場合には、現行の艇置きスペースが不足するため、コースの向き(ゴールスタート)を逆にしてスペース確保を図る等の対策が必要になる。	<p>設置から44年が経過し、今後国体やそれ以後の利活用を考慮すると、大規模な改修や建替等の検討を想定する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>築44年が経過し、管理棟・設備等の老朽化が著しく、全面的な改修が必要。</li> <li>国体の競技会場としての活用には艇置きスペースの不足のため、コースの向き(ゴールスタート)を逆にしてスペース確保するなどの対策が必要。</li> <li>国際大会等の開催を想定した場合、現地での対応は困難。</li> </ul>
県立体育館 (本館・別館) (大津市)	昭和45年 10月(本館) 昭和54年 5月(別館)	45年 36年	<ul style="list-style-type: none"> <li>本館は築45年が経過し、老朽化が著しい。また本館アリーナが吊り天井となっており撤去が必要。</li> <li>本館アリーナの床については、研磨により管理ができる3回の研磨を既に実施済み。</li> </ul>	条件付活用可 ・駐車場の確保が課題	<p>設置から45年が経過し、老朽化が著しい。今後国体やそれ以後の維持を考慮すると、大規模な改修や建替等の検討を想定する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現在地では国体をはじめとする大規模な大会時やプロスポーツ等イベント開催時の駐車場確保が課題。</li> <li>施設の老朽化から建替の可能性を含めた幅広い検討が必要。</li> <li>当面の間、現在の施設を維持するには、最低限以下の改修が必要。 <ul style="list-style-type: none"> <li>吊り天井撤去</li> <li>床の張り替え</li> </ul> </li> </ul>
スイミングセンター (彦根市) (県立プール)	プールは公園((仮称)彦根総合運動公園)敷地内での設置が困難であり、別場所での再整備を検討する。				<p>主会場整備に伴い、県立プールがなくなることから、移設・建替を想定する必要がある。</p> <p>(国体主会場の整備に伴い現行施設の撤去)</p>

県立社会体育施設の最適な管理についての調査研究結果概要(想定経費)

別紙 2

施設名	建設	敷地面積/延床面積	経過年数	シミュレーションの方向性	H27~36年修繕費		主な修繕内容	(新設・建替の場合) 概算事業費算定のためのスペック	撤去・新築費		備考
					想定修繕費	年間平均			撤去費	新築費等	
長浜ドーム	・H4	73,000 m <sup>2</sup> / 15,300m <sup>2</sup>	23年	・現状維持	1,461,961千円	146,196千円	屋根塗装・修繕(200,000)、内部仕上修繕(203,904)、電 光設備修繕(270,000)、アリーナ放送設備修繕 (135,000)、人工芝張替(133,920)、給排水設備修繕 (93,664)、外壁修繕(56,860)、電力設備修繕(55,647)		-	-	
アイスアリーナ	・H12	38,700 m <sup>2</sup> / 7,800m <sup>2</sup>	15年	・現状維持	358,115千円	35,812千円	吊天井対策(41,292)、屋根塗装防水対策(63,467)、照明 LED化(36,750)、外壁・内部仕上修繕(30,269)、電力設 備修繕(32,224)、通信情報設備修繕(44,840)、給排水衛 生設備修繕(20,794)		-	-	
武道館	・H5	6,500 m <sup>2</sup> / 10,700m <sup>2</sup>	22年	・現状維持	867,831千円	86,783千円	吊天井対策(88,764)、外壁修繕(84,311)、内部仕上修繕 (215,456)、給排水衛生設備修繕(129,654)、電力設備修 繕(76,440)		-	-	
野球場	・S14竣工 ・H4改築	10,100m <sup>2</sup> / 24,700m <sup>2</sup>	75年 改後 23 年	・現状維持	714,115千円	71,412千円	スタンド屋根断熱材修繕(46,250)、屋根塗装(6,250)、ス タンド防水工事(70,400)、外壁修繕(101,773)、内部仕上 修繕(86,895)、スコアボードLED化(246,456)		-	-	
柳が崎ヨット ハーバー	・H8建設	7,900 m <sup>2</sup> / 7,400m <sup>2</sup>	19年	・機能維持 (ボート会館取壊し、管理棟 増築含む)	増築費231,000千円 442千円 増築H35年修繕開始 既存 166,051千円	増築221千円 既存16,605千 円	ボート会館、その他施設取壊(73,750)、外壁修繕 (14,146)、電力設備修繕(13,612)、通信・情報設備修繕 (13,529)		-	-	・修繕費に増築費用を含 む ・増築工期はH33-34を想 定し、年間平均修繕費に は計上しない。
栗東体育館	・H6	5,600 m <sup>2</sup> / 3,200m <sup>2</sup>	20年	・現状維持	268,834千円	26,883千円	屋根塗装(38,229)、ボイラー改修(40,000)、外壁修繕 (42,672)、内部仕上修繕(43,585)		-	-	
				・(参考)取壊し	28,391千円	2,839千円	内部修繕(11,258)、外部修繕(4,610)、屋根修繕(3,840)、 電力設備等修繕(3,320)		2.0億円	-	
伊吹運動場	・S54コー ト建設 ・H14管理 棟建設	10,100m <sup>2</sup> / 700 m <sup>2</sup>	36年 管理棟 13年	・現状維持	217,003千円	21,700千円	人工芝張替等(207,500)		-	-	
				・(参考)取壊し	2,956千円	296千円	内部修繕(1,306)、電力設備等修繕(514)、外部修繕 (453)		1.1億円	-	
スポーツ会館	・S59	3,000 m <sup>2</sup> / 3,000m <sup>2</sup>	31年	・現状維持	180,165千円	18,017千円	外壁修繕(20,639)、建具修繕(17,669)、屋根瓦全面改修 (58,320)、多用途筋機能評価運動装置(18,360)		-	-	
				・(参考)取壊し(機能移転)	16,453千円	1,645千円	内部修繕(7,699)、外部修繕(2,520)、電力設備等修繕 (3,031)		1.8億円	-	
ライフル射撃 場	・S55建設	15,100m <sup>2</sup> / 800 m <sup>2</sup>	35年	・(参考)取壊し	0千円	0千円	経常修繕で対応		0.7億円	-	・H37年閉館を想定
				・取壊し、建替え(既存スペ ック)	1,431千円 H32年修繕開始	286千円			0.7億円	3.4億円	
				・(参考)取壊し、移設 新築 一部機能拡充	2,187千円 H32年修繕開始	437千円			0.7億円	4.8億円	

施設名	建設	敷地面積/延床面積	経過年数	シミュレーションの方向性	H27~36年修繕費		主な修繕内容	(新設・建替の場合) 概算事業費算定のためのスペック	撤去・新築費		備考
					想定修繕費	年間平均			撤去費	新築費等	
琵琶湖漕艇場	・S46~47 建設 ・S53宿泊 棟建設	1,800 m <sup>2</sup> 1,100m <sup>2</sup>	44年	・(参考) 現状維持	34,582千円	3,458千円	屋根・外壁修繕等(12,547)、電力・通信設備改修(2,728)、トイレ改修・浴室新設(6,750)、艇庫改修(4,664)、救助・監視用モーターボート(2,468)				
				・現状維持 (スケルトン改修含む)、 増築	1,359千円 増築H32年修繕開始	272千円		1,000m×6レーン B級公認コース 艇庫 80艇分(事務所棟・艇庫敷地は 含まない)		増築 2.8億円 改修 2.0億円	
				・(参考) 取壊し、移設 新築	1,323千円 新築H35年修繕開始 既存 2,806千円	新築662千円 既存280千円		1,000m×6レーン B級公認コース 艇庫 80艇分 防波堤設置、湖底浚渫	0.7億円	81.4億円	・新築等の費用には、 コース整備費等を含む。 ・5ha以上の浚渫を行うこ ととなるため、環境アセス メントが必要になる。 ・自然公園法、港湾法等 の法規制への対応が必要 になる。
体育館	・本館:S 45 ・別館:S 54	13,100m <sup>2</sup> 本館:7,900m <sup>2</sup> 別館:2,100m <sup>2</sup>	本館 45 年 別館 36 年	・(参考) 現状維持	390,647千円	39,065千円	吊り天井対策(126,000)、屋根外壁修繕(97,246)、電気 設備修繕(35,148)、アリーナ床張替(47,550)、機械設備 修繕(53,912)				
				・取壊し、現地建替 (低スペック)	9,167千円 新築H35年修繕開始	4,584千円		メインアリーナ面積 2,000m <sup>2</sup> (バスケット ボールコート 2面) 固定観客席 2,000席 サブアリーナ面積 1,000m <sup>2</sup> スポーツ会館機能併設 ※1階部分駐車場(200台)	5.6億円	47.4億円	
				・取壊し、移設 新築 高スペック	19,724千円 新築H35年修繕開始 既存 16,195千円	新築9,862千円 既存1,620千円		メインアリーナ面積 3,600m <sup>2</sup> 程度(バ スケットボールコート 4面) 固定・可動観客席 5,000席 サブアリーナ面積 1,500m <sup>2</sup> スポーツ会館機能併設	5.6億円	102.0億円	
				・取壊し、移設 新築 中スペック	12,184千円 新築H35年修繕開始 既存 16,195千円	新築6,092千円 既存1,620千円	(既存分) 屋根修繕(9,444)、給排水衛生(2,142)、受変電改修 (1,700)、通信設備修繕(1,660)	メインアリーナ面積 2,500m <sup>2</sup> 程度(バ スケットボールコート 3面) 固定・可動観客席 3,000~4,000席 サブアリーナ面積 1,500m <sup>2</sup> スポーツ会館機能併設	5.6億円	63.0億円	
				・取壊し、移設 新築 低スペック	7,889千円 新築H35年修繕開始 既存 16,195千円	新築3,945千円 既存1,620千円		メインアリーナ面積 2,000m <sup>2</sup> (バスケット ボールコート 2面) 固定観客席 2,000席 サブアリーナ面積 1,500m <sup>2</sup> スポーツ会館機能併設	5.6億円	40.8億円	
スイミングセ ンター				・移設 新築 高スペック	22,432千円 新築H35年修繕開始	11,216千円		メインプール:「屋内」温水50*25 可動床0~3m 観客席3,000席程度 サブプール:「屋内」温水25*20 可動床0~2m 飛込プール:「屋内」		115.5億円	
				・移設 新築 中スペック	10,528千円 新築H35年修繕開始	5,264千円		メインプール:「屋内」温水50*25 可動床0~3m 観客席2,000席程度 サブプール:「屋内」温水25*20 可動床0~2m 飛込プール:屋外		55.2億円	
				・移設 新築 低スペック	6,769千円 新築H35年修繕開始	3,385千円		メインプール:屋外 50*25 固定床2m 観客席2,000席程度 サブプール:「屋内」温水25*20 固定床 1.6m 飛込プール:屋外		34.8億円	

※H27~36年の間に「新築」「建替」を想定する施設について、当該年間に発生する修繕費について、実際には瑕疵担保の範囲で対応可能なケースが多いと考えられる。

※新築の場合、土地取得費、造成費等は含まない。